



## プロ用途も視野に入れる スタジオ・パワー・シリーズに属する 電源ケーブル



### フルテック The Astoria

¥22,000 (1.5m)

余計な色付けを避け、クリアで歪みのない音を伝送が、同ブランドStudio Power Seriesの特徴。導体素材はPC-Triple Cを80本/φ0.18mm×3極構成で採用し、絶縁材は柔軟性PVC。耐電圧、耐熱の向上と振動の防止を図る。外径寸法はφ12.8mm。ケーブル延長の特注にも対応する  
©フルテック ☎03-5437-0281



電源プラグにはフルテック製FI-11M(Cu)、IECコネクタには同FI-11(Cu)を採用。純銅の上に銅メッキ処理が施された二層メッキ加工となっている

### 「低価格にして高性能」の 急先鋒

福田雅光

かつては5万円クラスが納得の時代もあった電源ケーブルも、低価格、高性能化の時代を迎えている。現在2万円前後の製品で十分な性能が得られる。たとえば、アコースティックリヴァイブのAC・20・Triple

C、そしてフルテックのこのケーブルである。同時に発売された上級モデルのThe Empireもあるが、解像度を重視するならThe Astoriaを薦める。ケーブルはPC-Triple Cを採用して新規に開発。ケーブル外径は約φ13mmと多少細いが、一般に電源ケーブルも太い導体、構造が有利という時代は終わった。太い導

体を使っても低音が伸びることはなく、デメリットもある。導体断面積は2sq程度で十分な性能を発揮する。アストリアは銅メッキプラグを装着、高SN比でバランスよく帯域を広げ解像度が高い。高域の繊細性や音のコントロール、輪郭の精度に優れ、また低音の締まりや分解力など、全体に表現力が高く薦められる性能だ。